平成 31 年 2 月 28 日

社会福祉法人いずみ　ひまわり（児童発達支援）

平成 30 年度 ひまわり（児童発達支援）　自己評価に対する検討結果

アンケート実施期間：平成 30 年 11 月

	アンケート結果	改善目標、工夫している点
環境・体制整備	保護者より ・医ケア児もバスに乗れたり、より多くの子が預かってもらえると嬉しい。 ・ＯＴさんがいたらいいな	・医ケア児の送迎については、看護師体制を考えながら、検討していく。 ・単独の受け入れ人数については、職員体制を考えながら可能な日は増やしていく。 ・ＯＴについては、他施設との連携の中で検討していく。
業務改善	・事業所向け自己評価及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているかについて。	・今年度より、事業者向並びに保護者向自己評価表を実施、結果をもとに事業所の会報やホームページで報告する。2019 年度以降も継続して実施していく。
	・職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	・法人内他施設への研修や法人主催の講演会には、一部職員は参加した。外部講師を呼んだ研修は今年度できていない。研修については、次年度より計画的且つ積極的に、外部、内部共に参加していく。
	・第三者による外部評価。	・第三者による外部評価は未実施。まずは、今回の自己評価の結果を踏まえて支援の向上につなげていく。
適切な支援の提供	・保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある。 事業者向け自己評価の中で、子どもの適応行動の状	・現在、ひまわりでは保育園や、幼稚園等との交流は行っていない。個別で、保育園や幼稚園を利用されている方はいる。交流については、感染症等に対する注意が必要であり、保護者との同意のもと、必要なケースには対応も検討していく。

	況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか・支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか・日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の改善につなげているかの項目に対して、「いいえ」と答えた職員が数名いた。	・個別支援計画作成に対して、アセスメントツールを使用している。 ・職員の勤務時間が異なるため、勤務終了後に全員での打ち合わせは出来ていない。朝礼や、職員会議、日々の記録の中で、気付きや支援の振り返りをしている。 ・記録に関しては、新たな支援記録の用紙等も検討している。正しく記録をとることを、今後徹底し行っていく。
関係機関や保護者との連携	事業者向け自己評価の中で、協力医療機関との連絡体制を整えているか・保育園や特別支援学校との情報共有と相互理解を図っているか・他の児童発達支援事業等と連携し、助言や研修を受けているか・自立支援協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか・保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラムの支援を行っているかの項目に対して、「いいえ」と答えた職員が数名いた。	・協力医療機関には、必要時に適宜助言等を頂いている。 ・保育園や特別支援学校とは必要時適宜情報の共有を行っている。 ・他の児童発達支援事業所とは、情報共有や交流をしており、又、他施設職員が見学に来たりしている。今年度は、ひまわりから他施設の見学には行けていないが、今後は積極的に見学をしていく。 ・地域の会議等には、今年度は参加できていないが、保健担当連絡会等に毎年参加している。 ・保護者に対する家族支援プログラムについては、情報提供等は行っているが、より具体的な家族支援プログラムについて検討していく。 今回、「いいえ」と答えて職員がいる中で、実施している内容も多かった。今後、職員間での情報の共有をより密にしていく。実施できていない内容に関しては、計画的に実施していく。

保護者への説明責とう	事業者向け自己評価の中で、定期に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか・父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか・事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているかの項目に対して、「いいえ」と答えた職員が数名いた。	・保護者からの相談等は、日々通所されている時間の中や、連絡帳、個別支援計画の面談等を通して行っているが、今後より意識し行っていく。 ・保護者同士の連携を支援する為、母子通園、お茶会、父母療育、保護者会等を行っている。今後も継続して実施すると共に、通所時に保護者同士で話せる時間を作る等検討していく。 ・事業所行事として地域住民を招待することは、合同祭り以外には行っていない。近隣住民から、製作活動等協力を頂ける声も上がっているので、今後検討していく。 今回、「いいえ」と答えて職員がいる中で、実施している内容もあった。今後、職員間での情報の共有をより密にしていく。実施できていない内容に関しては、計画的に実施していく。
非常時等の対応	事業者向け自己評価の中で、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知すると共に、発生を想定した訓練を実施しているか・非常災害の発生に備え、定期的に非難、救出その他必要な訓練を行っているか・事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか・食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているかの項目に対し	・マニュアル等に関しては策定しているが、更新等が行えていない。今年度は、消防署を呼んでの、救急対応等は行えていない。来年度は、実施していく。 ・防災訓練等は職員向けには実施しているが、利用者向けには今年度は実施していない。3 月までに、消防署に来てもらい訓練を実施する予定。 ・服薬、てんかん発作、予防接種の状況等は確認をしている。今後も確認を続けていく。 ・アレルギーの有無等については、主治医の意見書等で確認をしている。現在エピペン等を使用する利用者はいない。 今回、「いいえ」と答えて職員がいる中で、実施している内容もあった。今後、職員間での情報の共有をより密にしていく。実施できていない内容に関しては、計画的に実施していく。

	て、「いいえ」と答えた職員が数名いた。	
満足度	保護者向け自己評価表の中の子どもは通所を楽しみにしているか、事業所の支援に満足しているかの項目に対して、分からないとの答え 1 人に対して、その他全員が満足と答えられた。	今後も、利用者、保護者も満足できるような療育を提供できるように努めていく。

以上